

第73回 福島県身体障がい者福祉大会受賞者名簿

(敬称略)

◆自立更生者表彰 (9名)

桑折町	佐々木 多佳子	矢祭町	高澤 玉
二本松市	佐藤 よし	棚倉町	鈴木 作英
二本松市	渡邊 幸子	猪苗代町	赤壇 早智子
本宮市	原田 幸男	相馬市	佐藤 智英
古殿町	中居 孝子		

◆更生援護功労者表彰 (7名)

本宮市	森岡 三登子	磐梯町	鈴木 良一
田村市	渡邊 一美	喜多方市	荒川 洋一
古殿町	高原 マリ	新地町	中島 幸子
猪苗代町	黒崎 正		

◆加盟団体運営協力者感謝 (2名)

二本松市	渡辺 テルミ
古殿町	岡部 光一

大会スローガン

- ◎ 心のバリアフリーを地域社会に根づかせよう
- ◎ 改正障害者差別解消法及び県条例の理解啓発の促進を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう

ノーマライゼーションの理念

障がいを持つ人も持たない人も、高齢者も若者も、誰もが等しく家庭や住み慣れた地域で、お互いに人間として尊重しあいながら、普通の生活ができるようにしていくという考え方。

大会宣言

磐梯山と猪苗代湖に代表される雄大で美しい自然が息づき、また、多くの名所旧跡を有する福島県の観光地であるここ、猪苗代町において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第73回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体及び猪苗代町をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

平成18年に障害者権利条約が国連で採択されて以降、我が国では、障害者基本法の改正、障害者総合支援法及び障害者差別解消法の成立など国内の法整備が進められ、さらに、昨年4月からは改正障害者差別解消法の施行にともない事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されるなど、障がい及び障がいのある者に対する理解が深まってきており、障がい理解の一層の促進に向け、自らも心をひとつに活動していかなばならない。

また、同時期に「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」も一部改正がなされたが、県民理解のもと、差別解消に向けた一層の取り組みとともに、県内各市町村の実情に即した「障がい者差別禁止条例」の制定を求める。

さらに、東日本大震災により長期避難生活を送られている県内外の障がい者への支援活動を引き続き展開していくとともに、災害時における被災障がい者支援の充実を求める。

加えて、県内の障がい者一人ひとりが、「私たちのことを私たち抜きに決めないで」とする障害者権利条約の精神にのっとり、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、障がいによって分け隔てられることなく、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

令和7年10月21日

第73回福島県身体障がい者福祉大会

大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災障がい者の支援に万全を期するため、第73回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

要望事項

- 1 障がい理解の活動を広げ地域共生社会の実現に取り組むことを要望する。
- 2 障がい当事者参画のもと、障がい関係施策の促進を図ることを要望する。
- 3 障がい者差別をなくすための条例を県内各市町村で制定することを要望する。
- 4 改正障害者差別解消法の理解啓発の促進を図ることを要望する。
- 5 被災加盟団体の再建への支援並びに災害時における被災障がい者支援の充実を図ることを要望する。

努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、地域共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

令和7年10月21日

第73回福島県身体障がい者福祉大会